



よし だ つ う し ん

吉田通心

第121号
【2024年10月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通心は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆内定式でお伝えした4つのこと◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通心第121号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先日、10月9日（水）に弊社会議室にて内定式を実施しました。そして、その場で私から内定者である学生さんに、主に次の4つをお伝えしました。

1. 社会人としての意識を持ちましょう：社会人としての第一歩は入社式かもしれませんが、社会人としての意識を持つ準備期間としてください。その社会人としての意識を持つために、ときどき吉運堂にアルバイトに来てもらうこともあります。そこで採用の手伝い等してもらいます。学生向けのインターンシップもありますので、その進行役などもやってもらう予定です。

2. いろいろチャレンジしましょう：例えば自動車の運転。自動車の運転は、教科書（運転マニュアル）を読んだだけで運転できる人は誰もいません。みんな教習所に通って、そこで内輪差で脱輪したり、バックでポールにぶついたりといったことをたくさん繰り返しながら運転ができるようになります。仕事もいっしょで、たくさんの失敗を繰り返しながらできるようになっていきます。

3. できる人のマネをしましょう：学生でそれをやるとNGだけれど、社会人はやってもOKなこと、それはカンニングです。つまり、マネをすること。学生でカンニングはいけませんが、社会人になったら仕事ができる人をカンニングする、マネをする、これが「できる社会人」になる近道です。どんどんできる人のマネをしていきましょう。

4. ほんの小さな心掛けで仕事ができる人になります：これは2つ。相談することとメモを取ること。なんでもかんでも自分一人で決めるのではなく、上司や先輩に相談しながら仕事を進めていく。メモは忘れないためでもあるけれど、忘れるためでもある。書いたメモを見れば思い出せるから忘れてもいいようにメモを取る。この2つの心掛けが大事です。以上、大きく4つのことをお伝えしました。来年4月に正式に入社してきてくれることを今からとても楽しみにしております。



◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、長かった夏が終わり秋を迎えた今日この頃。私はその長かった夏のことを思い出しながら、シーズン最後の枝豆である「肴豆（さかなまめ）」をいただいております。これで今年の枝豆が終わりになってしまうわけで、枝豆好きの私としては名残惜しいのですが、来年のシーズンを待ちつつ、秋の味覚を楽しみたいと思います。早速、（小ぶりの）サンマを美味しくいただきました。吉田竹史

■吉田通心を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史